

実践事例 8 H 高等学校 第 1 学年

横断单元名「思春期の性、性感染症、妊娠・出産と健康」

教科等横断的单元の目標

- ① 性感染症・エイズ等の感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会的な対策の必要性を理解することができる。【知】
- ② 性感染症・エイズについて課題を発見し、その解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。【思・判・表】
- ③ 自己の生き方についての考えを深め、多様な生き方を尊重し、人間関係を築くことができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	4	現代の感染症 ○現代の感染症について考える。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 感染症の予防 ○感染症予防、対策について話し合う。 ・感染症の予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。 性感染症・エイズとその予防 ○性感染症やエイズについて調べ、その予防について意見を出し合う。 ・予防には、個人及び社会における対策が必要であること。	性に関する知識テストを活用し、生徒の実態を知り、授業にいかす。 感染症の予防の個人の取組や社会的な対策について、具体的に記入できるようなワークシートを準備する。 グループ内で役割分担をし、意見を出しやすい雰囲気をつくる。 ICT の活用	性感染症・エイズ等の感染症は、時代や地域によって、発生や流行に違いがみられることを理解している。（①：ワークシート） 感染症の予防には、個人の取組及び社会的な対策が必要であることを理解している。（①：ワークシート） 性感染症・エイズについて課題を発見し、その解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。（②：観察）
特別活動	1 ★	性の講話 ○性に関する講話を聞く。 ・性感染症について ・男女交際等について ・妊娠や出産等について	生徒がもつ課題に対応するよう、3 人の講師に講話を依頼する。 生徒に自分の課題に対する講話を聞かせる。 外部講師との連携の工夫	自己の生き方についての考えを深め、多様な他者の価値観や個性を否定しない態度を身に付けようとしている。（③：観察、ワークシート）

この実践のここがポイント！

ICT の活用

インターネットを活用して、様々な情報の中から性感染症について調べ、グループでまとめた内容をプレゼンテーションソフトを使って発表できる場を設定する。

外部講師との連携の工夫

生徒の個々の課題解決につなげるために、個々の課題を事前に把握し、専門家に講話を依頼する。

【本時について】

「思春期の性、性感染症、妊娠・出産と健康」＜特別活動（学級活動）＞

★（1／1時間目）

本時の目標

- ・自己の生き方についての考えを深め、多様な他者の価値観や個性を否定しない態度を身に付けようすることができる。【学び】

☆本時の展開

学習活動・内容													
つかむ	1 本時の流れをつかみ、本時の講師を知る。 ・3つの会場で講師紹介 2 本時のめあてを確認する。 自己の生き方について考え、これからの自分自身の行動を考えよう。												
さぐる	3 外部講師の講話を聞く。 <table><tr><td></td><td>講師</td><td>内容</td></tr><tr><td>(1)</td><td>医師</td><td>性感染症等について</td></tr><tr><td>(2)</td><td>大学教授</td><td>男女交際等について</td></tr><tr><td>(3)</td><td>助産師</td><td>妊娠や出産等について</td></tr></table>		講師	内容	(1)	医師	性感染症等について	(2)	大学教授	男女交際等について	(3)	助産師	妊娠や出産等について
	講師	内容											
(1)	医師	性感染症等について											
(2)	大学教授	男女交際等について											
(3)	助産師	妊娠や出産等について											
みつめる	4 外部講師の講話をワークシートにまとめ、周りの生徒と交流をする。 ・課題には個人によって違いがある ・考え方や生き方にも個人によって違いがある ・予防には、個人の取組と社会的な対策を行う必要がある (1)ワークシートのまとめ (2)周りの生徒との意見交換												
ふかめる	5 講話で得た課題解決方法をもとに自分自身の意思決定・行動選択につなげる。 ・責任ある行動 ・おもいやりのある行動												

「つかむ」工夫

生徒が主体的に学習できるよう、どのような内容の講話を聞か、事前に選択できるようにする。（3人の講師に講話を依頼する。事前打合せ必要。）

「さぐる」工夫

生徒が自身の課題解決のために必要な情報を得られるよう、専門家の講話を聞く場を設定する。

評価規準（評価方法）

自己の生き方についての考えを深め、多様な他者の価値観や個性を否定しない態度を身に付けようとしている。（観察）

「ふかめる」工夫

外部講師から学んだことについて、これからの自分自身の行動に必要と考えることをワークシートにまとめさせる。

評価規準（評価方法）

講話を聞き、これからの自分自身の行動に結び付けようとしている。（ワークシート・事後アンケート）

目標到達しなかった生徒への対応例

授業中の生徒の様子やワークシートへの記述等から、自己や他者の生き方について具体的な考えをもてなかった生徒については、授業中や授業後に担任や副担任等で話をする。

事前・事後の個別指導の具体例

授業後に専門医による「性の健康相談」を設定しておくなど、養護教諭等と連携して、授業を通して課題を抱える生徒を把握し、必要に応じ個別に指導できる機会を確保する。

【関係資料】

☆ 健康教育推進事業実施要項

○年○月○日職員朝礼用資料

「性に関する指導推進事業」推進委員会

保健環境課

○年度健康教育推進事業（性の講話、性の健康相談）実施要項

1性の講話（性に関する指導推進事業に係る外部講師派遣で外部より3名依頼）
(1)日時○年○月○日（○）○限目（○：○～○：○）
(2)対象者1年生
(3)実施場所および講師・講演内容

場 所	講 師 名	主な講話内容	備 考
体育館	性の専門医本校担当 ○○○○	性感染症について	※希望する保護者も参加可
剣道場	○○大学○○学部 教授○○○○	思春期の性やデートDVを含めた男女 交際等について	
視聴覚室	○○赤十字病院助産師 ○○○○	妊娠や出産など高校生に知っておいて 欲しい事	

(4)式次第（司会進行 保健委員1年代表生徒）
①開会の言葉 ※司会
②講師紹介 保健委員1年代表生徒
③講話
④質疑応答
⑤謝辞 保健委員1年代表生徒
⑥閉会の言葉 ※司会
(5)その他
①事前に生徒へ別紙「性の講話および健康相談の希望調査」を配布し、希望する講話と質問内容を把握する。
②講話当日の終礼時に講話の感想を記入させ、担任が回収して保健室へ提出する。

2性の健康相談
(1)日時○年○月○日（○）○限後（○：○～○：○）
(2)場 所 談話室
(3)対象者 希望生徒
(4)相談担当 性の専門医本校担当：○○○○ 先生
(5)申込方法 別紙「性の講話および健康相談の希望調査」を記入して、担任または、保健室へ提出する。

☆ 保護者へのお知らせ

保護者各位

令和○年○月○日

福岡県立○○高等学校長

専門医による「性の健康相談」の実施について

秋分の候 保護者の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。さて、近年、性の問題を抱える高校生が増加傾向にあり、本校でも日々その対応に努力しているところです。その活動の一環として、高校生の悩みに対して適切な指導を行うため、専門医による健康相談を下記のとおり実施いたします。一人で思い悩むより、専門医の指導助言を受けすることで問題解決の糸口が見つかるともあります。相談内容やプライバシーの保護には十分配慮いたしますので、お気軽に御相談ください。

なお、相談は保護者のみ、生徒のみ、親子相談等、様々な形で対応していきますので、相談を希望される方は、担任または養護教諭へお申し込みください。

記

1日 時 性的健康相談 令和○年○月○日（○）○時～

2場 所 ○○高等学校 談話室

3専 門 医 性の専門医本校担当 ○○レディースクリニック院長 ○○先生

4相談形態 生徒のみ（グループでも個人でも可）、保護者のみ、生徒と保護者同伴

5申込方法 下記申込用紙を担任または、保健室（養護教諭）へ提出してください。
（電話による申し込みでもかまいません。）

○○高等学校 Tel（○○○）○○○-○○○○

申込締め切り ○月○日（○）

＜相談内容＞

性的健康相談

・月経異常（不順、無月経、過多など）に関すること

・月経痛に関すること ・その他の不安や悩み

◎ その他、どんな内容でもかまいません。お気軽に御相談ください。

切り取り線

「性の健康相談」申込書

年 組 氏 名 （ 生徒 保護者 ）

①相談内容 [性の健康相談] を希望します

②相談形態 [個人（生徒・保護者） ・ 親子 ・ グループ]

※希望するものに○をつけてください

- 49 -

☆ HIV・エイズの知識テスト

HIV・エイズの知識テスト		
組	番	名前
※ () に○か×を記入してください。		
1	HIVは、エイズと診断されていない感染者からも感染する	()
2	感染した人を刺した針に刺されても感染しない	()
3	他の人が使用したカミソリや歯ブラシを使うとHIVに感染する	()
4	感染者が使用した洋式トイレの便座に座ることで感染する	()
5	感染者が使用した大衆浴場やプール、電車のつり革などからも感染する	()
6	性感染症にかかっていると、HIVに感染しやすくなる	()
7	現在、特定のパートナーしかいない場合はHIV感染の可能性はない	()
8	現在、病院で採血するときに感染することがある	()
9	HIVに感染しても、約1～10年は症状が出ないこともある	()
10	母親がHIVに感染している場合、妊娠中に赤ちゃんに感染することがある	()
11	軽いキスで感染する可能性がある	()
12	現時点で、エイズのワクチンはない	()
13	エイズの発症を遅らせる薬はない	()
14	コンドームを使えば、100%HIVの感染を予防できる	()
15	HIVの検査は、全国の保健所で匿名・無料で受けることができる	()

☆ 学習シート

学習シート「性感染症・エイズとその予防」		
組	番	名前
①	知識テストの結果から、新たに気づいたことは何か？	
②	エイズを予防するために、あなたはどのようなことに注意していくか？	
③	エイズを予防するために、社会としてできることは何か？	
④	本時の授業を受けて今後の生活に実践していこうと思うことは何か？	

実践事例 9 I 高等学校 第1学年

横断单元名「性感染症、性の多様性と健康」

教科等横断的单元の目標

- ① 性感染症・エイズ等の感染症は、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解することができる。【知】
- ② 性に関する課題を発見し、その解決の方法を思考し判断するとともに、他者に説明することができる。【思・判・表】
- ③ 多様な他者の価値観や個性を受け入れ、自分にふさわしい生き方を主体的に考えることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	4 ★	現代の感染症 ○現代の感染症について調べる。 ・新興感染症や再興感染症について ・症状や予防方法について 感染症の予防 ○感染症予防、対策について考える。 ・感染症予防の3原則 ・現代の感染症対策 性感染症・エイズとその予防 ○性感染症やエイズについて学習し、その予防について意見を出し合う。 ・事前アンケートについて ・症状や予防方法について	個別と集団の組合せの工夫① 感染症について、病原体や症状などを表にしているワークシートを作成する。 図や表を使って、感染症予防がわかりやすいようなワークシートを作成する。 グループ協議で自分の意見を発言しやすいように、司会や記録、発表等の役割分担をする。 校内組織の工夫	エイズは、感染症の一種であることを理解し、その原因や予防について理解している。（①：ワークシート） 感染症の予防には、個人の取組及び社会的な対策を行うことが必要であることを理解している。（①：ワークシート） 性感染症に関する課題を発見し、その解決の方法について考え、他者に説明している。（②：ワークシート、観察）
特別活動	1	多様な性について ○個人が発見した課題について調べ、グループで共有し、解決に向けてグループ協議し、発表する。	多様な性について、グループで話し合う中で、互いの健康を守る行動を選択できるように説明する。 個別と集団の組合せの工夫②	一人一人の違いを認め、仲間の意見を受け入れ、自分にふさわしい生き方を主体的に考えようとしている。（②③：ワークシート、観察）

この実践のここがポイント！

校内組織の工夫

授業においては、グループ協議がスムーズに進むように、必要に応じて助言できるよう養護教諭や複数の教員と連携し、指導体制を整えておく。また、個別指導を効果的に実施できるよう、役割分担等の体制を整えておく。

個別指導と集団指導の組合せの工夫

事前に到達度テストを実施し、中学校までの学習で得た知識の習得状況を確認し、生徒の実態把握に努める。また、事後アンケートを実施し、知識の習得度が十分でない生徒や学習に向けた態度に課題を抱える生徒は、個別指導につなげる。

【本時について】

「性感染症・エイズとその予防」＜保健体育＞★（4／4時間目）

本時の目標

・性感染症に関する課題を発見し、その解決の方法について考え、他者に説明することができる。

【思・判・表】

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 これまでの学習を振り返る。 ・性感染症・エイズに関する問題について 2 本時のめあてを確認する。 性感染症・エイズについて正しい知識を得て、今後の自分の行動にいかそう。
さぐる	3 事前アンケートから性について考える。 また、学習プリントをもとに教師の説明を聞き、性感染症の症状等について知る。 ・主な性感染症 淋菌感染症、梅毒、エイズ 性器ヘルペスウイルス感染症 等 ・性感染症の病原体や症状 等
みつける	4 性感染症・エイズの予防や対策についてグループ協議をする。 ①感染源対策 ②感染経路対策 ③感受性者対策 (1)司会者・記録者・発表者等を決める (2)グループ協議で出た意見を集約し、発表する (3)リフレクションシートに記入する
ふかめる	5 本時の内容について振り返り、これからの自分の行動について考える。 ・本時で学んだことについて ・これからの自分の行動について

「つかむ」工夫

生徒がこれまでに学習した内容を想起し本時の学習の課題をつかみやすくするため、事前に既習内容の定着度を把握できるアンケートを実施しておく。

「さぐる」工夫

性感染症やエイズについて正しい知識を得るために、事前アンケートを基に説明する。

評価規準（評価方法）

性感染症に関する課題を発見し、その解決の方法について考え、説明している。（観察）

「みつける」工夫

一人一人の意見が生かされ、グループ協議が活発になるよう、役割分担や発表順を決めて取り組ませる。

評価規準（評価方法）

性感染症に関する課題の解決方法について学習内容を振り返り、自分の考えをまとめることができる。（ワークシートへの記入内容・事後アンケート）

目標到達しなかった生徒への対応例

課題の解決方法が見つからなかった生徒に対して、個別に声掛けをし、生徒の実態に応じて、学び直しの充実を図る。

事前・事後の個別指導の具体例

事後アンケートやリフレクションシートをもとに、学習内容の理解が得られなかった生徒を把握し、養護教諭等と連携して、既習内容の資料を提供しながら指導したり、継続的に相談を実施したりする。

【関係資料】

☆ 事前アンケート

事前アンケート				番 氏 名			
1	性感染症についての知識がある。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
2	エイズについての知識がある。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
3	性感染症の予防方法を理解している。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
4	エイズの予防方法を理解している。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
5	性感染症に関心がある。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
6	エイズに関心がある。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
7	もし性に関する相談をする場合、誰に相談しますか (複数回答可)。						
(	友人	先輩	教師	養護教諭	親	医者	その他 ())

☆ 事後アンケート

事後アンケート				番 氏 名			
1	性感染症についての知識を身につけることができた。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
2	エイズについての知識を身につけることができた。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
3	性感染症の予防方法を理解することができた。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
4	エイズの予防方法を理解することができた。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
5	性感染症について以前より関心が高まった。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
6	エイズについて以前より関心が高まった。						
(1	はい	2	どちらかと言えばはい	3	どちらかと言えばいいえ	4	いいえ)
7	性に関する相談をする場合、誰に相談しますか (複数回答可)。						
(	友人	先輩	教師	養護教諭	親	医者	その他 ())
8	授業を受けて、性に関する相談を養護教諭等に希望しますか。						
(	はい	いいえ					

☆ 事前アンケート

リフレクシヨンシート	
1 性感染症は性行為によって感染する病気である。	○ ×
2 性感染症の多くは自然治癒していく	○ ×
3 性感染症は、症状がわかりやすいので症状が出たら通院する。	○ ×
4 性器クラミジア感染症は若年層で感染者が増えている。	○ ×
5 エイズの病原体を答えなさい。()	()
6 エイズの感染経路を答えなさい。() () ()	() () ()
7 性感染症を予防するために、性行為を行う際は () を正しく使用する。	()
8 HIV抗体検査は () で行われ、() かつ匿名である。	() ()
アンケート	
1 興味を持って取り組むことができたか。(1) できた (2) おおむねできた (3) できなかった	1 2 3
2 必要な知識を身に付けることができたか。(1) できた (2) おおむねできた (3) できなかった	1 2 3
3 本日、学習した内容を実践することができたか。(1) できる (2) おおむねできる (3) できない	1 2 3
氏 名 _____	

☆ 個別指導記録シート

個別指導事例		福岡県立〇〇高等学校
事例 1		
実施日	令和〇年〇月〇日 (○)	
時期	事 前 ・ 事 後	
内容	相 談 ・ 指 導	
個別指導を行った理由	前日に行った実践授業において、リフレクシヨンシートに誤答があり、事後アンケートにおいても授業の理解度が満足できていないため。	
指導の概要	実践授業翌日、授業者が該当生徒に理解度があまりよくないので養護教諭と、このことで話してみようかと持ち掛け、養護教諭が指導にあたる。 該当生徒は学習内容が難しかったと養護教諭に話したため、授業を参観していた養護教諭が、改めて学習内容について話した。生徒は理解したようだ。	
事例 2		
実施日	令和〇年〇月〇日 (○)	
時期	事 前 ・ 事 後	
内容	相 談 ・ 指 導	
個別指導を行った理由	事例 1 と同じ	
指導の概要	実践授業後、授業者が該当生徒に理解度があまりよくないようだと話しかけたところ、該当生徒は部活動顧問が保健体育科の教員で、なおかつ実践授業を参観していたので「部活動顧問に教えてもらいます。」と返答する。 授業者から該当生徒の相談があると聞かされていた部活動顧問は、該当生徒からの相談がなかったため、自ら該当生徒に、このことについて話しかけ、学習内容が少し難しかったと洩らす生徒に改めて学習内容について話した。生徒は理解したようだ。	

実践事例 10 J 高等学校 第2学年

横断单元名「現在及び将来の自分～性に関する考え方～」

教科等横断的单元の目標

- ① 自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりすることが必要であることを理解することができる。【知】
- ② 性に関する課題や受精・妊娠・出産についての課題を発見し、課題を解決するために話し合ったことを他者に説明することができる。【思・判・表】
- ③ 多様な他者の価値観を受け入れるとともに、自分の生き方について主体的に考え、選択することができる。【学び】

单元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	4	思春期と健康 ○体や心の変化と健康課題について調べる。 ・思春期の体について ・思春期の心について 性意識と性行動の選択 ○性に関する情報を適切に整理する。 ・性に関する情報等への適切な対処が必要であること 妊娠・出産と健康 ○受精・妊娠・出産とそれに伴う健康課題について話し合う。 ・受精・妊娠・出産について 家族計画と人工妊娠中絶 ○家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響等について考える。 ・家族計画について ・人工妊娠中絶について	発達段階を踏まえ、学校全体で共通認識を図る。また、保護者の理解を得るなどの配慮をする。 性に関する社会問題や情報等の例を挙げたワークシートを活用し、生徒が理解していることを把握する。 それぞれの健康課題について発言しやすいように、グループを編成し、役割を分担して取り組ませる。 図や資料を用いたワークシートを作成しておく。 発達段階に合わせた单元構成の工夫	自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりすることが必要であることを理解している。（①：ワークシート） 自他や社会の課題の解決方法などを話し合ったりして、筋道を立てて説明している。（②：ワークシート、観察） 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題を発見し、課題解決に向け、話し合ったりしたことを説明している。（②：観察） 家族計画の意義や人工妊娠中絶について理解している。（①：ワークシート）
特別活動	2 ★	Career Plan & Family Plan ○外部講師による性感染症と10代の性についての講話を聞き、ロールプレイングを実施する。 ・自分のライフプランについて	生徒の実態に応じたロールプレイングのシナリオ等を準備する。 外部講師との連携の工夫	他者の生き方を尊重するとともに、自分のこれからの生き方について考えようとしている。【学び】 （③：観察、ワークシート）

この実践のここがポイント！

発達段階に合わせた单元構成の工夫

知識の習得状況や生徒の発達段階を把握し、必要に応じて、養護教諭や校医の助言をもらうなど、教科等の特徴を生かして指導に当たる。

外部講師との連携の工夫

外部講師を活用し、ピアエデュケーションの手法を取り入れる。外部講師とは、事前に目標・評価規準について確認し、効果的な連携を図る。

【本時について】

「Career Plan & Family Plan」＜特別活動（ホームルーム活動）＞ ★（2／2時間目）

本時の目標

- ・他者の生き方を尊重するとともに、自分の生き方について考えることができる。【学び】

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 助産師を目指す大学院生と学習を進めることを理解する。 ・大学院生の自己紹介 2 本時の目標を確認する。 「Career Plan & Family Plan」について考えよう
さぐる	3 男女交際、妊娠、出産についてのロールプレイングを行う。 (1) 4人が担当の演技をする。 (2) その後、それぞれが自分ならどう解決していくか考える。 ＜解決方法＞ ・親に相談する。 ・養護教諭に相談する。
みつめる	4 グループワークで自分のライフプランについて考える。 (1) 大学院生1名がファシリテーター（進行役）としてグループに入る。 (2) ファシリテーターが進学先を決めた理由や助産師を目指した理由を話す。
ふかめる	5 本時のまとめをする。 ・命はかけがえのないもの ・考え方や生き方は人それぞれ違うが、お互いを認め合う関係を築くこと 6 学習を振り返り今後、実践していくことについて記入する。 ・自分のライフプランについて

「つかむ」工夫

自分のこれからの人生においてどのように意思決定・行動選択していくべきか考えるための学習であることを伝える。

「さぐる」工夫【ロールプレイングの概要】

- ① 登場人物：A・B・C・D
- ② 場面設定：4人は仲のいい友達。
登場人物Dが彼氏の家に誘われている。
- ③ ロールプレイングの役割（人物像）
 A：自分の将来のことは、考えていない。
 B：将来結婚して、子供を生みたい。
 C：結婚して子供を生むかわからないが、将来は仕事を続けたいと考えている。
 D：今が楽しければいいと考えている。彼氏の家に誘われている。
 → 誘われたらどうするか。
 → 一度の性交で妊娠するか。

「みつめる」工夫

生徒が自分の将来について考えたり、発表したりしやすい環境を整えるために、グループワークを設定する。意見を引き出しやすくするため、年齢の近い外部講師である大学院生が進行役を務める。

評価規準（評価方法）

自身のライフプランを考え、他者に説明しようとしている。（観察）
 他者の生き方を尊重し、自分のこれからの生き方について主体的に考えている。（ワークシートへの記入内容）

目標到達しなかった生徒への対応例

今の考えが決定ではなく、考えは変化することもあることや、他者の生き方を尊重できるようになることが大切であることなど、多様な生き方があることを説明する。

事前・事後の個別指導の具体例

「性の健康相談」等を活用し、専門の先生の話聞く。
 他者との考えや意見が違っていてもいいことを伝え、自分の生き方をすぐに決めるのではなく、時間をかけて一緒に考えていく。

【関係資料】

☆ 本時の学習について

令和〇年〇月〇日
福岡県立〇〇高等学校

- 実施日 令和〇年〇月〇日 (〇) ○ 限目
○ 講 師 〇〇大学医学部看護学科 〇〇 〇〇 教授
〇〇 〇〇 准教授 他 大学院生 8名
○ 内 容「考えよう！ 一人一人の輝ける未来 ～Career Plan & Family Plan ②～」

【自己紹介】



【ロールプレイング (寸劇)】



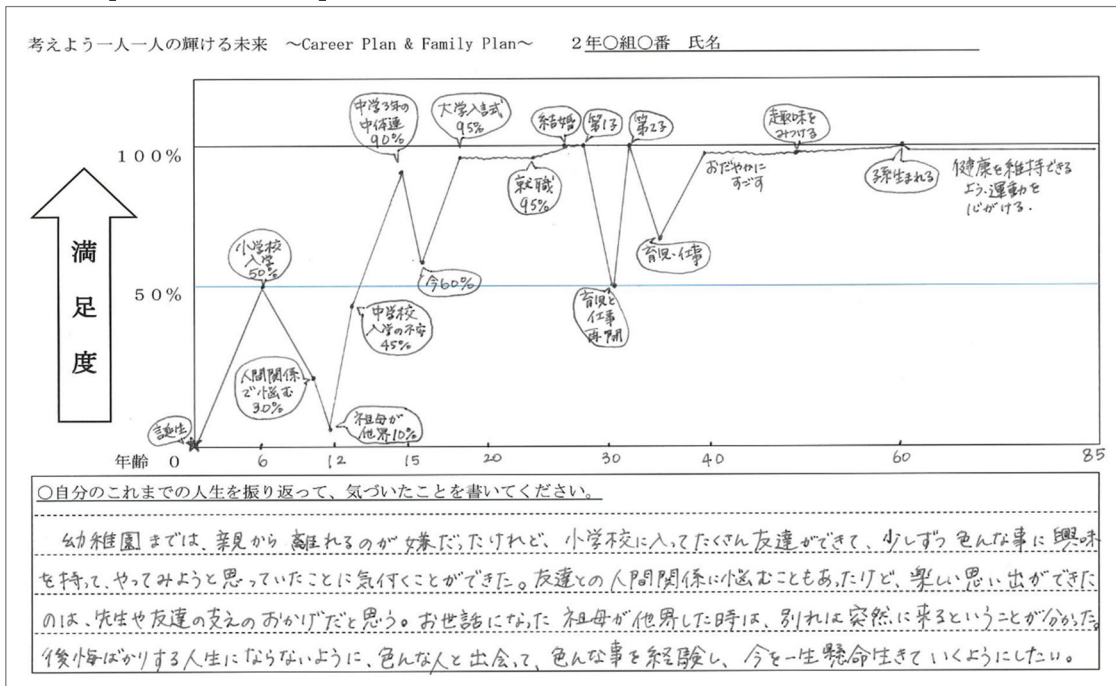
【グループワーク】



【グループワーク】



【ワークシート例】



★ワークシート

「考えよう！ 一人一人の輝ける未来」ワークシート

本時の目標
「Career Plan & Family Plan」について考える。

○ あなたが D さんの立場だったら、どうしますか。男子は、彼女から自宅に誘われたらどうしますか。

○ 自分のライフプランをグループで具体的に伝えることができましたか。
あてはまる数字に○をつけてください。

4	3	2	1
よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった

○ 他の人のライフプランを聞いて気づいたことと感想を書いてください。

○ 気づいたこと

○ 感想

○ 今回の授業を受け、今後の生き方において実践しようと思うことを書いてください。

実践事例Ⅱ K視覚特別支援学校中学部 第1学年

横断单元名「男女の人間関係」

教科等横断的单元の目標

- ① 心身の機能の発達と心の健康について理解することができる。【知】
- ② 他者の意見を聞いた上で、自分の意見を分かりやすく伝えることができる。【思・判・表】
- ③ 他者に対して思いやりのある発言をしようとするなど、よりよい人間関係を築こうとすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習内容	主な支援	評価規準（方法）
保健体育科	4	心身の機能の発達と心の健康 ○身体機能の発達等について、人体解剖模型を触って構造等を調べる。 - 身体機能の発達 - 生殖に関わる機能の成熟 - 精神機能の発達と自己形成 - 欲求やストレスへの対処と心の健康	立体的に構造を理解できるように、人体模型を準備する。 触察させる場合は、名称の確認と、卵子の経路などの説明を加える。 個別と集団の組合せの工夫	心身の機能の発達と心の健康について理解している。(①：ワークシート)
特別活動	2★	心と体の変化と異性に対する思いやり ○外部講師(助産師)から思春期の心身の変化について講話を聞く。 思春期の心や体の変化 ○心身の変化における個人差や性差、他者への思いやりについて話し合う。	これまでの学習の理解を深めるために、助産師による講話を設定する。 テーマに応じて男女別にするなど、グループ編成を工夫する。 外部講師との連携の工夫	他者の意見を参考にしながら、健康課題の解決方法を考え、選択すべき行動を判断し、それらを説明している。(②：観察) 他者に対して思いやりのある発言をしようとするなど、よりよい人間関係を築こうとしている。(③：観察)

この実践のここがポイント！

個別指導と集団指導の組合せの工夫

テーマについて意見が出しやすいようにするために、男女別のグループ編成を行い、協議の場を設定する。

グループごとに教員を配置し、グループ協議での取組の様子を観察し、個別に必要な支援を行う。

外部講師との連携の工夫

学習する内容の理解が深まるよう、助産師と事前に十分に打合せを行い、仕事で経験したことと学習内容を関連付けて話してもらう。

【本時について】

「心と体の変化と異性に対する思いやり」＜特別活動＞★（2／2時間目）

本時の目標

- ・思いやりのある発言をするなど、よりよい人間関係を築こうとすることができる。【学び】

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習のねらいをつかむ。 2 助産師の仕事で経験した事例を聞き、命の大切さを考える。
さぐる	3 いのちを生み出す準備（二次性徴）の大切さについて再確認する。 ・話し合いをするためにグループに分かれる。 ・リーダーを選出する。 (1)話し合い活動①を行う。 自分の心身の変化（二次性徴）について、考えてみよう。 (2) 話し合い活動②を行い、自分の考えや疑問点を発表する。 男女の違いや、心身の変化の違いについて考えてみよう。
みつける	4 話し合い活動③を行い、自分の考えを発表する。 「異性のことを思いやる」って何だろう。
ふかめる	5 それぞれのグループで出た意見について、全体で交流を行う。 ・自分自身の心身の変化について ・個人差について ・パーソナルスペースについて

「つかむ」工夫

二次性徴に大きく関係する事を印象付けるために、助産師から、仕事で経験した事例について話していただく。

「さぐる」工夫

意見交換が活発に行われるようにするために、各グループに教師がファシリテーターとして参加する。

話し合いを発展させるために、生徒の意見を肯定的に取り上げ、他の生徒の発言を促す。

評価規準（評価方法）

他者に対して思いやりのある発言をしようとするなど、よりよい人間関係を築こうとしている。（様相観察）

「ふかめる」工夫

生徒が理解できるようにするために、意見交流で分からないところについて質問を受けながら、本時のまとめを行う。

目標到達しなかった生徒への対応例

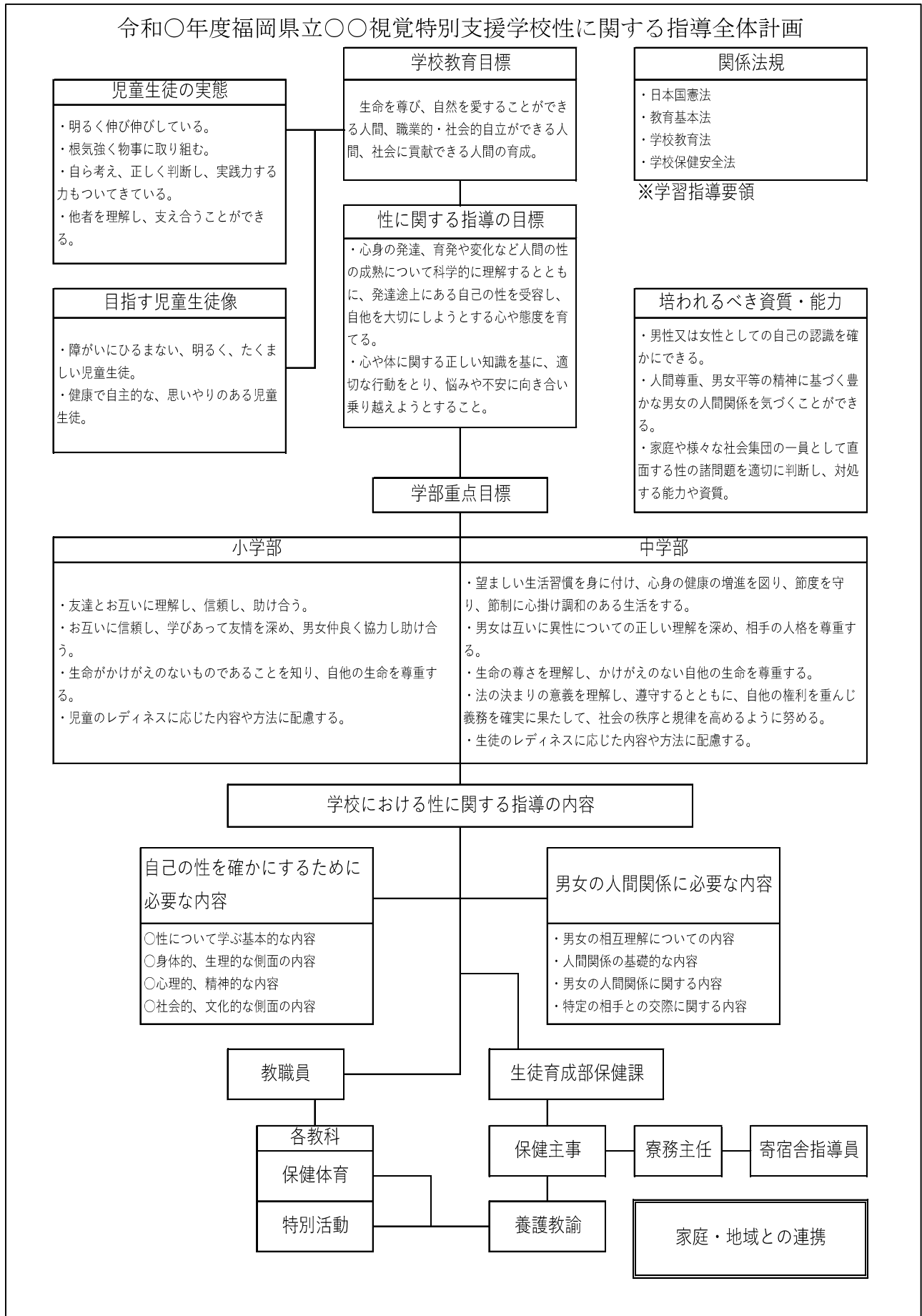
話し合いの様子から、自分の意見をもつことができていない生徒には、学習後に個別で説明を行い、理解ができるよう支援する。

個別指導の具体例

自分の心身の発育・発達等について、悩みや不安を抱える生徒については、事前に把握し、本時の様相観察も併せて助産師とも連携した個別指導を行う。

【関係資料】

☆ 性に関する指導の全体計画



☆ 授業用プレゼン資料

おとな になるということ

◇からだ・こころが変わる

◇周りの人はどんなひと？

◇周りの人は自分を
どう見ているか？

◇自分の気持ちを言葉で伝える

★ **自分を大切にする** ★

★ **相手を大切にする** ★

困った時は誰に相談する？

友達 **先輩** **兄弟**

親 **先生**

🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

- ・責任を持ったアドバイス
- ・愛情込めて育ててくれるのは？
- ・最近 ちょっと話にくいけど…

☆ 年間指導計画（中学部）

		6月	9月	11月	12月	1月
1年	保健体育科	・プール授業に伴う 事前指導	・心身の発達と心の健康～体の発達発達～			
	特別活動等	・月経時の処置と留意点（女子生徒）：養護教諭	・自分の体について知ろう（女子生徒）：養護教諭		・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話①）：外部講師	・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話②男女別）：外部講師
2年	保健体育科	・プール授業に伴う 事前指導				
	特別活動等				・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話①）：外部講師 ・心身の発達、異性への関心と思いやり：担任、養護教諭	・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話②男女別）：外部講師
3年	保健体育科	・プール授業に伴う 事前指導		・健康な生活と病気の予防 ・性感染症とその予防、エイズ		
	特別活動等				・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話①）：外部講師 ・性に関する問題に対する正しい判断と性被害の防止：担任、養護教諭	・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話②男女別）：外部講師
重複	特別活動等				・心と体の変化と異性に対する思いやり（講話①）：外部講師	

実践事例 12 L 特別支援学校中学部 第2学年

横断单元名「心と体の学習」

教科等横断的単元の目標

- ① 心や体の成長を知り、男女が互いに理解することができる。【知】
- ② 望ましい人間関係を築いていくために、より適切な意思決定に基づいて行動を選択し、それを説明することができる。【思・判・表】
- ③ 自己の心と体の変化について関心をもち、望ましい人間関係を築いたり、行動したりすることができる。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
生活単元	1	人との関わり方 （「あいだ」のとり方） ○人との関わりには適切な距離があることについて考える。	大切なポイントは、繰り返し伝え、教師と一緒に繰り返し復唱させる。	人との関わり方では、適切な距離があることを理解している。（①：ワークシート）
保健体育科	3 ★	思春期の心と体の変化 ○自己の発育測定の結果を比較し、体の変化の変化について考える。 ・思春期には心や体の変化が起ること。 ○体の大切なところに水着シールを貼る。 ・「かくすところ」は大切なところであること。	過去と現在の身体測定の結果を比較し、体の変化から、自己の成長を実感できるようにする。	発育測定の結果から、自分の成長や個人差に気付いている。（①：ワークシート） グループ学習では、選択すべき行動を判断し、友達に伝えている。（②：観察）
生活単元	1 ★	体の清潔 ○入浴での体の洗い方をやってみる。 ・体の清潔を保つために、入浴は大切であること。	体の部位をわかりやすくするために視覚的に捉えやすいイラストや言葉カード等を提示する。 保護者との連携の工夫	「かくすところ」の約束や入浴の仕方について理解し、意欲的に演習しようとしている。（③：観察）
学校行事		※宿泊体験学習		

この実践のここがポイント！

単元構成の工夫

保健の学習で学んだことを、生活単元での学習や宿泊体験学習での入浴指導と関連付けて実施する。個々の課題に応じて、必要な力を身に付けられるよう個別の目標・評価を設定して取り組む。

保護者との連携の工夫

保護者へ文書を配付し、学習内容を周知するとともに事前アンケートを行い、生徒の課題を保護者と共有する。把握を通信等で保護者と共有するとともに、実生活へ生かすことができるよう学校と家庭が連携して事後指導を行う。

【本時について】

「心と体の学習」＜保健体育（保健分野）＞★（保健分野3／3時間目）※生活単元との関連

本時の目標

- ・体の変化や「かくすところ」を守ることについて理解することができる。【知】
- ・「かくすところ」について、話し合いや発表をすることができる。【思・判・表】

☆本時の展開

	学習活動・内容
つかむ	1 前時までの心や体の変化の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 体の「かくすところ」と約束を知って、入浴の仕方を練習しよう。
さぐる	2 体の「かくすところ」についてグループで交流し、発表する。 ・思春期の体の変化が起こる部分が「かくすところ」であること、そこが大切な部位であることを確認する。 ・「かくすところ」について、場面ごとのワークシートの裸のイラストに水着のシールを貼り、グループで交流し、適切な考えに気付く。 ・「かくすところ」は自分だけのものであると分かる。
みつける	3 「かくすところ」の約束についてグループで交流し、発表する。 ・グループで交流したことを発表する。 ・「かくすところ」を自分自身で守ることができるように、誰かが触ろうとしたときなどの対処法を教師から聞き、「かくすところ」に関する約束を確認する。 （自分のかくすところ） ①見せない ②人がいるところで触らない （友達がかくすところ） ①見ない ②触らない
ふかめる	4 入浴時の体の洗い方について演習をする。 ・グループでお風呂の入り方、体の洗い方について知る。 ・入浴の仕方を、グループでイラストを確認しながら教え合ってやってみる。

「つかむ」工夫

本時の内容につなげるために、前時までの学習を想起させる。

体の部位を分かりやすくするために、視覚的に捉えやすいイラストや言葉カード等を提示する。

「さぐる」工夫

適切な格好や場に応じた行動について考えることができるようにするために、入浴・プール・公衆の場等での振る舞いについて、ワークシートに良い例と悪い例の2択を準備して、個別にシールを貼る活動を設定する。

評価規準（評価方法）

体の変化や「かくすところ」について、自分の考えを発表することができる。

大切な「かくすところ」を守るために必要な約束を理解できる。

（様相観察）

「ふかめる」工夫

実際の生活につながるようにするために、保健体育の学習と生活単元の学習とを関連付けて演習を行う。

目標到達しなかった児童への対応例

学習の事前や事後に、保護者と学習内容について共有し、実生活での様子を観察しながら理解の定着を図る指導を繰り返し行う。

事前・事後の個別指導の具体例

事前アンケートで、生徒一人一人の理解を把握するとともに、学習後に保護者に伝える。また、家庭でできることの提案を行う。

【関係資料】

- ☆ 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について

特別支援学校学習指導要領解説各教科編

(小学部・中学部) 第4章

「第10 中学部における指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取り扱い（特別支援学校学習指導要領第2章第2節第2款第2）」より

<一部抜粋>

「 また、選定された指導内容を適切に取り組み合わせて、生徒の学習上の特性等を考慮しながら、単元等としてまとめて取り上げ、配列することが重要である。その際には、生徒の実態等を考慮するとともに、生徒の卒業後の進路なども踏まえながら、実際の生活に結び付くよう指導内容を組織し、指導計画を作成することが大切である。」

特別支援学校学習指導要領解説各教科編

(小学部・中学部) 第4章 第2節

「1 知的障害のある児童生徒の学習上の特性等」

<一部抜粋>

「 知的障がいのある児童生徒の学習上の特性としては、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活場面で生かすことが難しいことが挙げられる。そのため、実際の生活場面に即しながら、繰り返し学習することにより、必要な知識や技能を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導が重要となる。児童生徒が一度身に付けた知識や技能等は、着実に実行されることが多い。」

- ☆ 保護者へのお知らせ

令和〇年〇月〇日

中学部2年生保護者等 各位

〇〇特別支援学校長
中学部第2学年担任団

「心とからだの学習」の実施について

日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力いただき感謝申し上げます。さて、2学期の保健体育で「心とからだの学習」を行い、身体の清潔や第二次性徴について学習します。つきましては、下記のとおり中学部2年生徒に対し授業を実施しますので、保護者の皆様にアンケートの御協力をお願いします。

記

1 日 時 令和〇年〇月〇日(〇曜日)

2 授業のねらい

- ①第二次性徴について知り、大人の体に近づいていることが分かる。
- ②入浴時の体の洗い方について確認し、体を清潔にする大切さが分かる。
- ③かくすところの約束が分かる。

3 授業の内容(男女別)

- ①第二次性徴が現れるところを人体図に表す。自分自身を振り返り、個人差に気付く。
- ②宿泊学習を想定し、入浴マナーと体の洗い方について着衣で演習する。
- ③かくすところは、「見ない」「見せない」「触らない」「触らせない」約束を確認する。

☆ 保護者アンケート

別紙	「心とからだの学習」保護者アンケート
	2年 組生徒名
	記入者名
1 次の質問にお答えください。当てはまる□に✓をつけてください。	
ア お子様は、自分の体の変化に関心を持っていますか。	☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない
イ 保護者の方が、お子様の体の変化について気にすること、または、お子様が気にしている様子が見られることがありますか。	(男子) ☐ 声変わり ☐ 性器の発育 ☐ 体が丸くなる (女子) ☐ 乳房が大きくなる
	☐ 腋毛、陰毛、ひげ ☐ 腋毛、陰毛 ☐ 初経、月経 ☐ 構通 ☐ その他
具体的に記入できればお願いします。	()
ウ お子様は、誰とお風呂に入っていますか	□一人で □同性の親 □同性の兄弟姉妹 □異性の親 □異性の兄弟姉妹 □その他()
エ お子様は、一人で身体をきれいに洗えますか	□洗える □洗えない □分からない
※エで「洗えない」と回答された方へ	
オー1 どの部分が洗えないと思いますか。	□全て □頭 □顔 □首 □肩 □胸 □腕 □背中 □お尻 □性器 □足
□その他()	
オー2 洗えない部分はどうされていますか。	□同性の親が洗う □同性の兄弟姉妹が洗う □異性の親が洗う □異性の兄弟姉妹が洗う
□洗うように声を掛ける □特に何もしない	
2 「心とからだの学習」の授業や入浴で気になることがあれば御記入ください。	
3 「心とからだの学習」の授業前に担任や養護教諭への相談がありますか。	
☐ ある	☐ ない ※あると回答された御家庭には、事前に御連絡します。
御協力ありがとうございました。	
※ 月 日 () までに担任へ提出してください。	

☆ 保護者へのお知らせ

令和○年○月○日	中学部2年生の保護者の方へ
保健体育で「思春期の体の変化」について学びました。思善期は大人の入り口です。お子さんに思善期の体の変化が起これば始めたら、体が子どもから大人に近づいていることを話してみてください。それとともに、ご家庭でも普段から大人としての対応を心掛けてください。	
また、人のいる場所(トイレ前)での「かくすところ」の決まりと約束も学びました。「かくすところ」の決まりと約束は、「見ない・さわらない・見せない・さわらない」ということです。これは家庭内でも同じです。家族がいる場所(家族の前)で、「かくすところ」をさわっている場合には、「人のいるところではしませんよ」と言葉掛けをして、気付きをうながしてください。	
中学部2学年 学年団	
今回使用したワークシートです。 ご覧いただきまして、ご意見・ご感想をお聞かせください。 また、ご家庭で工夫していることなどありましたら、 どのようなことでもよいので是非お知らせください。	
月 日 () までに担任にご返却ください。	

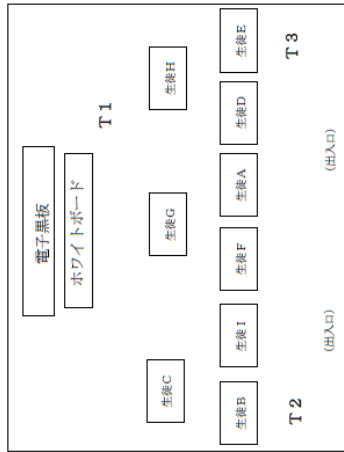
☆ 「かくすところ」を選ぶ生徒



☆ 入浴の演習



☆ 座席配置図



【全体学習】

☆ 個別の評価規準の設定

	評価項目	評価	記述
生徒AI	○「かくすところ」や約束を理解し、演習をすることができたか。 (知識及び技能)		
	○「かくすところ」がどこかを考え、それを友達に伝えることができたか。 (思考力・判断力・表現力等)		
	○自分の意見を言ったり友達の意見を聞いたりして話し合いをすることができたか。 (学びに向かう力、人間性等)		
生徒CF	○「かくすところ」を知り、教師の言葉掛けて演習をすることができたか。 (知識及び技能)		
	○「かくすところ」を貼った場所を指差して伝えることができたか。 (思考力・判断力・表現力等)		
	○友達の見え方を最後まで聞くことができたか。 (学びに向かう力、人間性等)		

☆ 年間指導計画

令和○年度 中学部「心とからだの学習」年間計画									
目標		題材		ねらい		学習内容			
学年	指導	形態	指導	形態	指導	形態	指導	形態	指導
会 学 年	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活	日 生 ・ 特 活
1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期	1 学 期
2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期	2 学 期
3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期	3 学 期
1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年	1 年
2 年	2 年	2 年	2 年	2 年	2 年	2 年	2 年	2 年	2 年
3 年	3 年	3 年	3 年	3 年	3 年	3 年	3 年	3 年	3 年

実践事例 13 M聴覚特別支援学校高等部 第2学年

横断单元名「生涯を通じる健康」

教科等横断的单元の目標

- ① 健康課題及び課題解決に向けた知識について理解することができる。【知】
- ② 他者の意見を参考にしながら選択すべき行動を判断し、それらを説明することができる。【思・判・表】
- ③ 自己の健康管理の必要性について関心をもち、仲間と協力し、意見を交換したり課題について調べたりするなど、意欲的に学習しようとする。【学び】

単元計画

教科等	配時	主な学習活動・内容	主な支援	評価規準（方法）
家庭	1	男女で担う家庭生活 ○男女で担う家庭生活について考える。 ・人間の愛と性 ・子供の誕生 ・親として育つ	前回の学習を振り返りやすくするために、ヒントを与えながら、学習内容を整理する。	健康課題について理解し、課題解決に向けた知識について理解している。(①：ノート)
保健体育科	10 ★	生涯を通じる健康 ○生涯を通じる健康について資料を見ながら考える。 ・思春期と健康 ・性への関心・欲求と性行動 ・妊娠・出産と健康 ・結婚生活と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶★ ・中高年期と健康	書画カメラ等の視覚教材を用いて、人工妊娠中絶等のデータや避妊法などの具体例を提示する。 ICTの活用の工夫	他者の意見を参考にしながら、選択すべき行動について、自己の考えを説明している。(②：ワークシート、観察)
特別活動	4	いのちの授業 ○助産師の話を聞き、親になることについて考える。 ・妊娠・出産・子育て（親になるということ） 性的マイノリティ ○性の多様性について考える。 ・性の多様性	助産師の講演で考えたことをまとめやすくするために、まとめ方のポイントをスライドで提示する。 関係機関との連携の工夫	グループでの意見交換に、意欲的に参加しようとする。(③：観察)
自立活動	1	聴覚障がい者の結婚生活 ○聴覚障がい者の結婚生活について考える。 ・障がい者の結婚 ・結婚生活について	自己の考えをもちやすくするために、具体的な生活場面を想起させながら考えさせる。	結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上について、自己の考えを伝えることができる。(②：観察)

この実践のここがポイント！

ICTの活用の工夫

スライドや書画カメラ等の視聴覚教材を用いて、関連するデータや画像等を視覚的に提示しながら、個や集団で考えさせる。

関係機関との連携の工夫

効果的な学習となるように、生徒の実態や授業後の生徒の反応について、助産師と情報共有をする。

【本時について】

「生涯を通じる健康」＜保健体育（科目保健）＞★（7／10時間目）

本時の目標

- ・家族計画における避妊法について理解することができる。【知】
- ・思いがけない妊娠を避けるための意見を，他者に説明することができる。【思・判・表】

☆本時の展開

	学習活動・内容	
つかむ	1 これまでの学習の振り返る。 ・結婚生活と健康について 家族計画の意義と避妊法を理解し，適切な行動について考えよう。	「さぐる」工夫 生徒が課題を把握しやすくするため，書画カメラ等の視覚教材を用いて，人工妊娠中絶等のデータや，避妊法などの具体例を提示する。
さぐる	2 家族計画の意義について発表シートに記入する。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題がある。 ・健康課題は年齢や生活習慣などが関わっている。 3 避妊や人工妊娠中絶について，データを基に考える。 ・家族計画において，望まない妊娠を避けるために避妊法がある。 ・人工妊娠中絶は，心身に大きな影響を与えてしまう。	評価規準（評価方法） 家族計画の意義と避妊法について理解している。（ワークシートへの記入内容）
みつける	4 グループで望まない妊娠を避けるためにできることを考え，自分の考えを発表する。 ①男女別のグループに分かれる ②ワークシートに自分の考えを記入する ③グループで意見交流をする。 ④グループで考えをまとめる。 ⑤全体で交流する。	「みつける」工夫 一人ひとりの生徒が自分の意見を述べやすくするために，男女別のグループを編成して話し合い活動を行う。
ふかめる	5 本時の学習を振り返り，家族計画の意義について理解したことをワークシートにまとめる。	評価規準（評価方法） 他者の意見を聞きながら，自分の意見を整理し，説明することができる。（様相観察・ワークシート）

目標到達しなかった生徒への対応の例

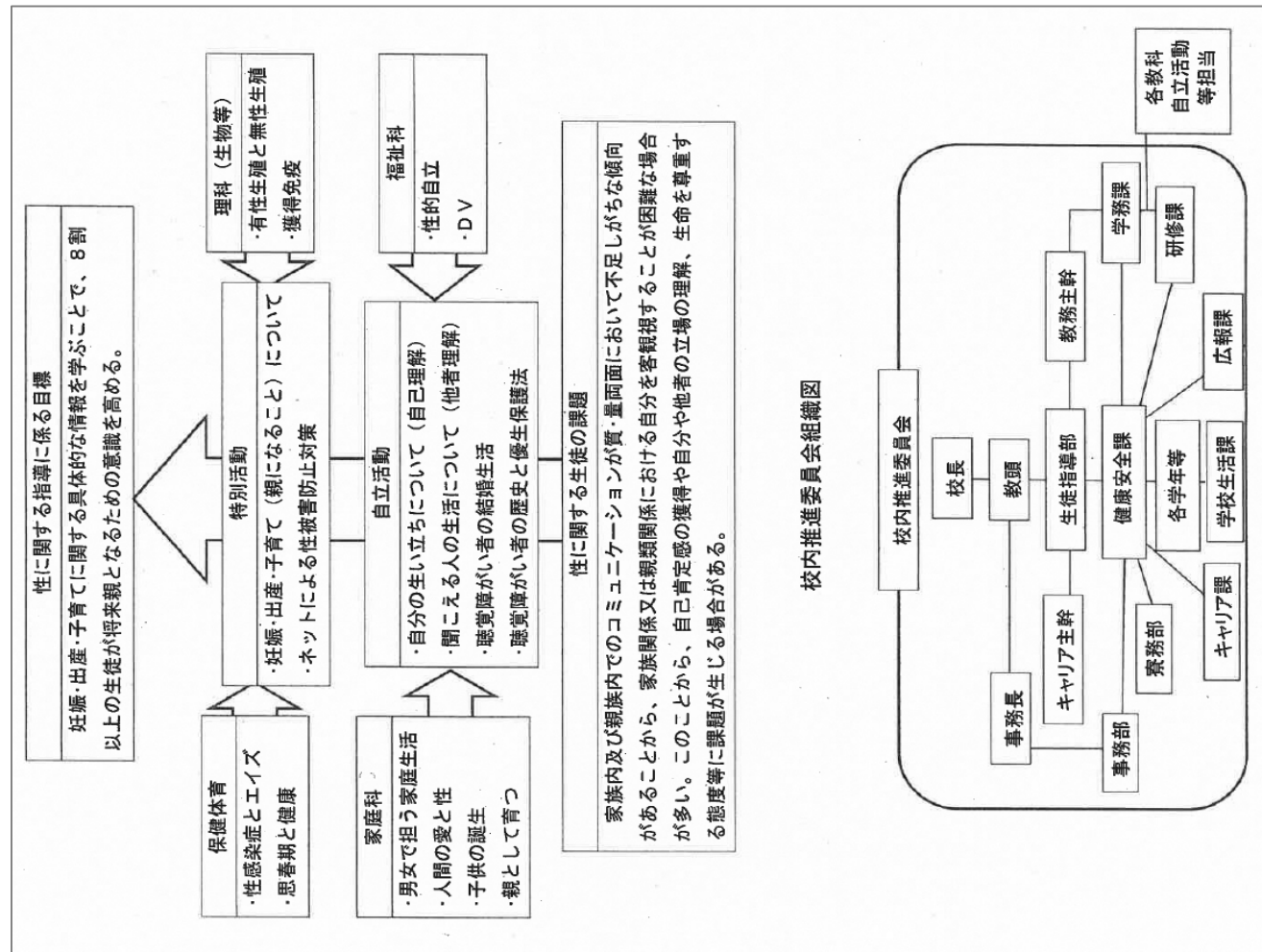
グループ交流で自分の考えを説明できなかった生徒には，担任や養護教諭から補足説明を行う。

事前・事後の個別指導の具体例

学習内容や授業時の様子，学習後の家庭での様子などを，通信や連絡帳等で家庭と情報を共有し，学習の習得状況を把握する。

【関係資料】

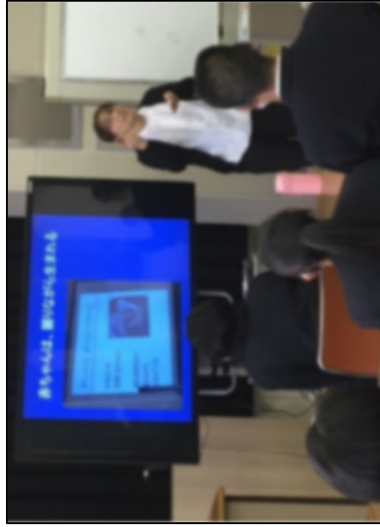
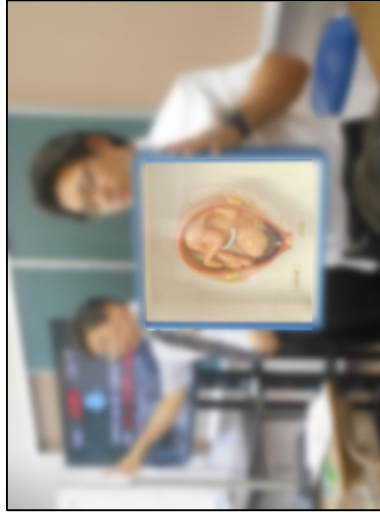
☆ 「性に関する指導」の全体計画



☆ 「性に関する指導」年間指導計画

	本科1年	本科2年	本科3年	専攻科
4月	各学年・教科及び健康安全課による「性に関する指導」年間指導計画作成			
5月	保健体育 性感染症とエイズ	保健体育 思春期と健康	性に関する指導①	
6月	性に関する指導① 家庭科 男女で担う家庭生活	性に関する指導① 生物 有性生殖と無性生殖	性に関する指導① 生物 有性生殖と無性生殖	自立活動 聴覚障がい者の結婚生活について
7月	第2回「性に関する指導推進委員会」物品購入計画の完成			
8月	第3回「性に関する指導推進委員会」 ・1学期の取組についての評価及び2学期以降の課題整理 ・研究授業指導案の検討・作成			
9月	家庭科 人間の愛と性 子供の誕生	研究授業①保健体育	福祉科 性的自立、DV	
10月	研究授業②特別活動「妊娠・出産・子育て（親になるといこと）」 特別活動「保護者と学ぶ規範意識育成事業」 ・ネット依存とネットによる犯罪防止のために知っておくべきこと			
11月	特別活動（人権学習） 性的マイノリティについて	特別活動（人権学習） 性的マイノリティについて	生物 獲得免疫	自立活動 聴覚障がい者の歴史 優生保護法について
12月	第4回「性に関する指導推進委員会」 ・2学期の取組についての評価及び3学期以降の課題整理			
1月	性に関する指導②	性に関する指導②	特別活動（人権学習） 聴覚障がい者の歴史 優生保護法について	性に関する指導① 特別活動（人権学習） 社会に出る前に
2月		自立活動 聴覚障がい者の結婚生活について		
3月	第5回「性に関する指導推進委員会」年間の取組に関する評価（成果と課題の整理）			
備考				

☆ 視覚教材の活用



☆ 自分の考えを説明している様子



☆ 生徒への事前アンケート（1年生）

今、何年生ですか？ 1年 組 氏名

今の気持ちをちょっと教えてね

① ● 異性（※男子は男子、女子は女子）の新しい友だちがほしいと思うことがありますか。
 ほしいと思うことがある あまり思わない

● 異性（※男子は男子、女子は女子）の友だちのことで困ったことや、やんだことがありますか。
 ある ない
 「ある」の人はよかったですら内容を書いてください。
 ()

② ● 中学・高校生になって、友だちの間で異性（※男子は男子、女子は女子）のことが話題になることが増えてきたと思いますか。
 思う 思わない

③ ● 中学・高校生になって、特に感じるようになった心の変化を選んでください。（3つに○）
 また、その解決方法があれば、口の中に書いてください。
 ・ 親に何が言われると、うるさいと思うようになった。
 ・ イライラすることが出てきた。
 ・ 服装や髪型に気をつかうようになった。
 ・ 異性（※男子は男子、女子は女子）のことが気になるようになった。
 ・ 不安や悩みが出てきた。
 ・ 人と自分をくらべらるようになった。
 ・ 自分に自信が持たなくなってきた。

解決方法

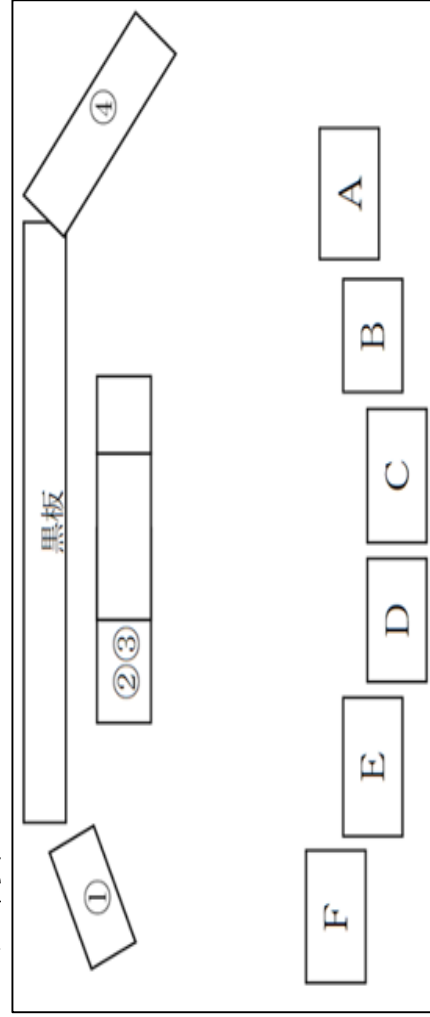
みなさんの様子も知らせてください（あてはまるものに○をつけてください）

① 中学の異性についての情報をつけたことがありますか。
 (ある ない あったが、意味がわからなかった)

② 今、つきあっている人がいますか。
 (いる 今はつきあっていないが、中学ではつきあっていた つきあったことがない)

③ どうしたら友達になれると思いますか。
 (手をつなぐ キスする 抱き合う 性交する)

☆ 座席表



①モニター ②書画カメラ ③パソコン ④ホワイトボード